

目標達成計画

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者の入れ替わりも多く、年齢も高く、認知症によるレベル低下も著しくなっている。新しい関わりや交流を行える環境が出来る様な支援をする。アセスメントをオ行い、利用者個別の対応が出来る様にする。	自分らしい快適な生活をして頂く。新しい利用者にはホームでの生活に慣れて頂く。	アセスメントや生活状況から、その人の性格や趣味、得意な事等把握し、その人に合った生活をして頂く。集団レクやイベント(誕生会、納涼祭)等を通し利用者同士のコミュニケーションを図る。	6か月
2	33	利用者の身体状態も低下し、急変する可能性が出て来ている。応急手当や初期対応が出来る様、技術力を向上し、実践力をつける。	スタッフの技術向上、実践力をつける。利用者個別のレベルを把握し、状況に応じた介護が出来る様にする。	体調の変化や急変時の対応をスタッフ全員が出来る様、勉強会や申し送りにて確実に出来る様にする。転倒に関しては、利用者のレベル低下や下肢筋力の低下等把握しておく。	12か月
3	29	社会参加の機会を持ち、地域の方との交流や、保育園との交流が出来る様支援する。	イベントへの参加、保育園との交流会、詩の朗読会等への参加。	ボランティアの方の詩の朗読会(月1回)来園、参加。運動会や秋祭りへ参加し、家族や地域との交流を図る。保育園児との交流会を通し、子供と触れ合う機会を設ける。	12か月
4	13	災害時等誘導方法について、利用者のレベルや状態も変化していく為、定期的な検討やシュミレーションを行なう。また、地域との協力体制作りを行なえるようにする。	近隣住民の方と合同にて避難訓練や火災訓練を行う。	町内での避難訓練や火災訓練への参加し、ホームでの避難訓練等にも、近隣の方に参加の声かけを行う。定期的に利用者の状態把握をし、話し合いを行なう。	12か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。